

令和6年7月29日  
高齢者支援課

## 令和5年度高齢者相談センター地区地域ケア会議について

高齢者相談センターが開催する地区地域ケア会議は、会議の目的にあった議題と参加者を選定し開催しております。

令和5年度の参加者は、区職員、医療・福祉関係者以外に、警察・消防・弁護士・住宅管理会社・ペット飼育支援を行っているNPO法人など多岐にわたっております。

令和5年度に高齢者相談センターが開催した会議は次のとおりです。

### 1 地区地域ケア会議の主な開催概要

地区	開催回数	議 題
芝	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケア体制構築に向けた、芝地区にある薬局や関係機関との連携</li> <li>・認知症高齢者を地域で支える支援について“あらためて”考える</li> <li>・認知症により生活面に影響が出ているが、運動機能に問題はない高齢者の行き場について</li> </ul>
麻布	12回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・敷地内（屋内・屋外）に物が大量にあふれている中で生活をしている高齢者および精神疾患を抱える家族の支援について⑥～⑫（計7回）</li> <li>・複合的課題を抱えた8050世帯①・②（計2回）</li> <li>・広島県豪雨災害の体験談を通して地域の災害対応について考える</li> <li>・不適切な同居人について</li> <li>・精神疾患を持ちながら地域で生活していた独居高齢者の退院後の生活の再構築に向けた自立支援について</li> </ul>
赤坂	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の通いの場の立ち上げについて</li> <li>・支援が必要なマンションの住民の方への対応について</li> <li>・認知症があっても都営住宅で生活が送れるようにするための対応方法について</li> </ul>
高輪	5回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「認知症夫婦の在宅生活を支えるために」～担当CMと関係機関と家族の協力体制について～</li> <li>・「人・動物・地域に向き合う」～ペット飼育問題と福祉～個別事例篇</li> <li>・近隣住民への被害妄想がある高齢者への支援～本人、双方が安心して暮らせるためにできること～</li> <li>・高輪地区の介護予防について考える～個々のニーズに合ったサービスの検討～</li> <li>・近隣住民への被害妄想がある高齢者への支援～本人、双方が安心して暮らせるためにできること～②</li> </ul>

芝浦 港南	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住宅取り壊しに伴い、立ち退きの必要性が生じた居住高齢者の対応について</li> <li>・運動への意欲はあるが転倒の繰り返しが見られる方の支援について</li> <li>・サービス事業所に対する物盗られ妄想・クレームの多い高齢者への対応と支援について</li> </ul>
合計	26回	

## 2 地区地域ケア会議の参加者（高齢者相談センター職員は除く）

（延べ数）

参加者 職種等	ケア マネ ジャー	介護 事業者	医師 等	薬剤 師	民生 委員	区	社会 福祉 協議会	警察 消防	ふれ あい 相談員	介護 予防 関係者	その他	合計
人数	44	17	9	21	9	103	21	4	12	39	22	301

※ 介護予防関係者：介護予防総合センター、いきいきプラザ、児童高齢者交流プラザ

※ その他：港区生活・就労支援センター、UR都市機構等の住宅関係者、弁護士、ペット飼育支援を行っているNPO法人など

## 3 令和5年度の地区地域ケア会議の傾向

昨年同様、認知症高齢者への支援や高齢者と同居している家族に精神疾患が疑われるケースが多く、関係性の構築の難しさや支援の介入がうまく進まないなど、複合的な課題が多くあります。

## 4 今後について

- ・効果的な会議になるよう、各センター職員が参加する地区地域ケア会議連絡会を通じて情報共有を図ります。そのうえで、区が実施する「港区地域ケア会議」で取り扱う議題を検討します。
- ・自立支援・介護予防の観点から、介護予防総合センターやいきいきプラザの専門職など、介護予防に関わる職員を中心に「自立支援型地区地域ケア会議」を実施し、意見交換や情報共有を行っています。今後も介護予防推進係と開催内容や課題を情報共有し、開催してまいります。